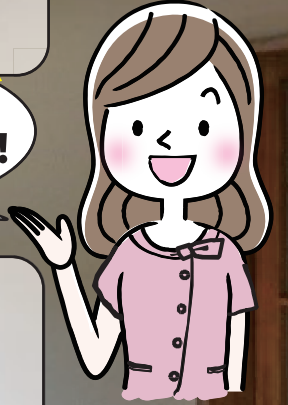


第32回 住まいのリフォームコンクール 応募要領

住まいのリフォームコンクールでは、住宅リフォームの普及促進とリフォーム工書の質の向上を図るために、様々な創意・工夫に溢れた良質なリフォーム事例を募集します。

これからの高齢化社会に配慮したバリアフリーリフォーム、地震に備えての耐震改修、地球環境に配慮した省エネリフォーム、伝統技術の継承を活かした古民家再生、長く使える工夫を施したリフォームなど、安心・安全・快適な住まいのための様々なリフォーム事例をご応募ください。

たくさんのご応募
お待ちしております！



対象

平成30年9月から令和4年8月までに県内で施工されたリフォーム工事が対象です。

●リフォームする前後どちらかに住宅用途を含むとします。

例：住宅→カフェ、事務所→住宅、住宅→宿泊施設、住宅→コミュニティ施設 など

●増改築（移築を除く）、模様替え、共同住宅の共用部分のリフォーム、DIYリフォームも対象とします。

●他のコンクール等に応募したものでも差し支えありません。

応募資格

●施主、設計者または施工者（設計者または施工者が応募する場合は、建物所有者の同意を得てください）

応募方法

●規定の応募用紙に必要事項を記入し、（公財）鹿児島県住宅・建築総合センターまで郵送または持参してください。※応募用紙は、住宅センターHPからダウンロードするか、または住宅センターへ請求してください。

●複数応募する場合は、それぞれ別用紙で作成してください。

●応募要領の個人情報の取扱いについて確認のうえ、同意欄にチェックをお願いします。

応募締切 ⇒ 令和4年8月31日（水） ※当日消印有効

審査委員

委員長	鯉坂 徹	鹿児島大学大学院 理工学研究科 工学専攻 建築学プログラム教授
委員	八反田 淳一	（一社）鹿児島県建築士事務所協会会長
委員	落司 ひとみ	（公社）鹿児島県建築士会女性部会幹事
委員	桑原 耕	（一社）鹿児島県建築構造設計事務所協会会長
委員	岩元 ミユキ	鹿児島県インテリアコーディネーター協会会長
委員	上村 康孝	鹿児島県土木部建築課住宅政策室室長
委員	松尾 浩一	（公財）鹿児島県住宅・建築総合センター理事長

賞【賞状・副賞】

鹿児島県知事賞	（1点）	（副賞：商品券3万円）
（公財）鹿児島県住宅・建築総合センター理事長賞	（1点）	（副賞：商品券2万円）
企画賞	（数点）	（副賞：商品券1万5千円）
奨励賞	（数点）	（副賞：商品券1万円）
特別賞（耐震改修）	（数点）	（副賞：商品券5千円）
部門賞	（数点）	（副賞：商品券5千円）

応募書類の取り扱い

1. 提出いただいた書類は返却しません。
2. 提出書類等の使用権は主催者に帰属するものとします。
3. 入賞した住宅のパネルは「2022 かごしま住まいと建築展」の会場及び住宅センター内の住宅情報プラザで展示する予定です。

応募先

（公財）鹿児島県住宅・建築総合センター企画部企画課
〒892-0838 鹿児島市新屋敷町 16-228（鹿児島県住宅供給公社ビル2階）
TEL 099-224-4543（直通） FAX 099-226-3963

※応募用紙の作成についてご不明な点は、（公財）鹿児島県住宅・建築総合センターまでお問い合わせください。

主催

（公財）鹿児島県住宅・建築総合センター

後援

鹿児島県
（公財）住宅リフォーム・紛争処理支援センター

協賛

鹿児島県ゆとりある住まいとまちづくり推進協議会
鹿児島県住宅リフォーム推進協議会 / （一社）鹿児島県建築協会
（公社）鹿児島県建築士会 / （一社）鹿児島県建築士事務所協会

応募用紙の作成要領（記載例）


令和4年度 第32回「住まいのリフォームコンクール」	受付番号	
記入日	令和4年7月23日	代表者
応募者 会社名 住所 氏名	〇〇建築設計室 鹿児島市〇〇町〇〇番地 〇〇 〇〇 TEL (099) 123-3456 FAX (099) 123-6789 MAIL (〇〇〇〇〇〇〇〇@〇〇〇〇.〇〇.jp)	〇
設計者 会社名 住所	〇〇建築設計室 鹿児島市〇〇町〇〇番地 〇〇 〇〇 TEL (099) 123-3456 FAX (099) 123-6789 MAIL (〇〇〇〇〇〇〇〇@〇〇〇〇.〇〇.jp)	
施工者 会社名 住所	株式会社 〇〇工務店 鹿児島市〇〇町〇〇番地 TEL (099) 123-3456 FAX (099) 123-6789 MAIL (〇〇〇〇〇〇〇〇@〇〇〇〇.〇〇.jp)	
協力企業名（専門業者等）	〇〇電設 株式会社	
個人情報の取扱いの同意欄	当応募書類の「住まいのリフォームコンクール」に関する個人情報の取扱いを詳しく、次のいずれかの〇印を付けてください。 同意する <input checked="" type="radio"/> 同意しない <input type="radio"/>	
応募住宅の所在地	鹿児島市（所在する市町村名のみ記入ください。）	
住宅所有者の年齢	60歳	家族構成
建築確認の要・不要	要・（不要）	所有者の応募同意
住宅融資制度利用有無	有（一般リフォーム）	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無
リフォーム保証保険利用有無	有	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無
種別	戸建 共同住宅 長屋 その他（ ）	
構造	在来木造・鉄骨造・鉄筋コンクリート造 木質系プレハブ・コンクリート系プレハブ・ツーバイフォー 鉄骨系プレハブ・その他（ ）	

対象建築物	築年数	30年	構造(階)	在来木・RC造(平屋)	延べ床面積	152.05㎡
竣工	2019年1月	工事期間	210日間	工事部分の面積	152.05㎡	
工事費	2,100万円	リフォーム種	全面リフォーム + 増築			

■設計施工のポイント（増築等の工夫）・アピールポイント

基本構想

- ・施主は子育てが終わった夫婦で、老後を穏やかな空間で過ごしたいという希望であった。
- ・敷地は、植栽豊かで、施主は景観をとても大事にしており、雨音がなくなったため既存木造住宅を解体することで、庭を広くとり、またシンボルツリーをそのまま活かして、室内から緑が見えるよう計画し、コンパクトな住まいでありながらゆとりある暮らしを目指した。
- ・既存の住宅は壁が多く、部屋がそれぞれ孤立し、暗い印象だったため、LDKを中心に明るい空間構成を構築した。

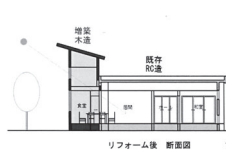


デザインの特徴


- ・シンボルツリー越しに見える、正面ファサードが重要だと考え、片流れ屋根の木調の外観で、雑林の中の住宅をイメージした。
- ・内装は施主の要望で、木のぬくもりが感じられる、あたたかみのある空間を目指した。
- ・RC平屋建ての既存住宅を木造にて増築し、リビングを広く確保し、吹き抜け空間を作り、ハイサイドライトから入る光により、明るく開放的な空間になるよう計画した。
- ・通常、南側は大きな吹き出し窓を設置するが、本計画では外の景色を眺めることが重要だったため、腰窓を用いて、窓枠が風景が切り取られることを意図した。

技術的な工夫

- ・既存RC部分は壁を解体することで、梁がたわむ可能性があったため、中央部に鉄骨柱を設置し、アクセントカラーを用いて、リビングの特徴のひとつとした。
- ・空間が広くなり、吹き抜け部分を設けたので、空調の効きを考慮して、床暖房を採用した。また、既存建物に入らなかった断熱材をきちんと施工し、開口部はすべてペアガラスとした。今回のリフォームで断熱性能は新築と同レベル上がった。



プランニングなど施主の要望に対する対応、設計施工のポイントや創意工夫した点、こだわった点など、自由に記入してください。

※上記の記載事項に間違いありません。 応募者署名 〇〇〇 〇〇〇 

※応募者等の記入要領
 (1) [応募者]欄には、施主、設計者又は施工者のいずれかを記入してください。
 (2) 住宅センターからの連絡窓口として、[代表者]欄に〇印を付けてください。
 (3) 協力企業はこのリフォーム工事を実施するうえで協力を受けた専門業者等がある場合のみ記入してください。
 (4) [住宅の概要]欄は該当するところに〇印を付けてください。

応募用紙 第32回

タイトル 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇

住まいのリフォームコンクール

リフォーム前



①南東側の和室 ②南側の広縁

敷地は、植栽が豊かで、施主は景観をとても大事にしていた。既存の住宅は壁が多く、部屋がそれぞれ孤立し、暗い印象だった。

③外観写真。既存の木造住宅が建ち込んでいる。

リフォーム後



④LDKは広々とした一体空間となり、窓からは風景が切り取られて見える。

⑤増築部。ハイサイドライトから光が入る。

⑥緑に囲われた玄関アプローチ

⑦住まいがり小くなった分、敷地にはゆとりが生まれ、緑の中に住む住宅となった。

既存木造住宅は解体することで、庭を広くとり、コンパクトな住まいでありながら、ゆとりある暮らしを目指した。吹き抜け部分を設けたので、床暖房を採用し、また既存住宅分にはなかった断熱材を施工し、開口部はすべてペアガラスとすることにより、断熱性能は新築と同レベルに上がった。

キャッチフレーズまたは、セールスポイントを15字程度で表現してください。

自由にレイアウトしてください。

《写真について》


- ・リフォーム前後の比較ができる写真を貼ってください。
- ・（可能ならば）周囲の状況の入った外観写真を貼ってください。
- ・耐震改修工事に関しては、工事途中の写真を添付してください。（別紙添付可）

《図面について》

- ・リフォーム前後の平面図、配置図（方位付き）を添付してください。
- ※リフォーム部分は着色するなど分かりやすく工夫してください。（応募用紙に入りきらない場合は別紙添付でも可）

応募用紙の請求先

- ・（公財）鹿児島県住宅・建築総合センター 企画課 (TEL: 099-224-4543)
- ・住宅センターのHP (<http://kjc.or.jp/>) からダウンロードできます。
- ・各市町村建築担当部局・各県地域振興局建築関係窓口でも配布しています。

※前回の入賞作品については、（公財）鹿児島県住宅・建築総合センターのホームページで公開しています。 <http://kjc.or.jp/information/booklet> 

住まいのリフォームコンクールに応募者等の個人情報の取扱い KJC110601

（公財）鹿児島県住宅・建築総合センター 総括個人情報保護管理者 総務管理部長

（公財）鹿児島県住宅・建築総合センター（以下、「住宅センター」という。）では、住宅リフォームの普及促進とリフォーム工事の質の向上を図るため、「住まいのリフォームコンクール」を実施しており、今回の応募で提出していただく書類は、「住まいのリフォームコンクール応募要領」に定められた書類です。この提出書類により取得した個人情報につきましては、住宅センター個人情報保護方針に基づき、以下のとおり取扱います。

- 1 個人情報の利用目的
提出書類により取得した個人情報は、次の目的以外には利用いたしません。
 (1) 選定結果通知などの事務連絡に関すること
 (2) 入賞作品の表彰・公表に関すること
 (3) 後援者（鹿児島県等）への結果報告に関すること
- 2 個人情報の第三者への提供
取得した個人情報については、あらかじめ本人の同意を得ない限り第三者への提供はいたしません。
- 3 個人情報の委託
入賞者への賞状及び入賞作品の作品集作成などのため、取得した個人情報を委託することがあります。
- 4 個人情報の提供がなかった場合
提出書類等について、不備や、未記入等があった場合、受付できない場合がありますので、あらかじめご了承下さい。
- 5 個人情報の開示、訂正、追加、削除、利用停止等について
申込者本人から個人情報の開示、訂正、追加、削除、利用停止等についてお申し出があった場合、住宅センター個人情報保護規程（規程第19号）及び個人情報の開示等に関する取扱要領に基づき、適切かつ迅速に対応いたします。

【開示等受付窓口】 〒892-0838 鹿児島市新屋敷町16番228号
 （公財）鹿児島県住宅・建築総合センター 総務管理部 総務課 個人情報保護事務局
 TEL 099-224-4539
 受付時間 9:00～12:00、13:00～17:00（土・日・祝祭日・年末年始を除く）